

企業の課題を共に考え、解決への道を探る！

中小企業支援者のための 研修ガイド

2025下期

支援機関の皆様の支援力向上に資するため、
5つの新規コースを含め、9コースを開講いたします。
ご自身の支援力アップにぜひご活用ください！

研修の体系

受講対象者の経験等に応じて3つのレベルを設定

- ① 基礎 (基礎知識の修得)
- ② 専門 (実践力養成、専門知識の修得)
- ③ 上級 (実践力養成、コーディネート力の修得)

研修分野

- ① 経営実務の支援力
(経営・戦略、財務・税務、営業・広報、相談・助言力など)
- ② 地域の活性化支援
(企業連携・観光など)
- ③ 政策課題支援
(事業承継、生産性向上、創業・新規事業・人手不足など)
- ④ 組織内のノウハウ継承



中小企業大学の支援担当者等研修のご案内

研修の体系

受講対象者の経験等に応じて3つのレベルの研修を設定しています

- ① 基礎 | 新任者または職務経験1～5年程度の方。基礎となる知識・理論・手法の修得をめざす。
- ② 専門 | 中堅担当者または職務経験5年程度以上の方。専門知識・実践力・分析力の修得をめざす。
- ③ 上級 | 管理職または職務経験10年程度以上の方。専門知識・総合力・応用力の修得をめざす。

研修分野

- ① 経営実務支援力（経営・戦略、財務・会計・税務、営業・広報、相談・助言力など）
- ② 地域の活性化支援（企業連携・観光など）
- ③ 政策課題支援（事業承継、生産性向上、創業・新規事業・人手不足など）
- ④ 組織内のノウハウ継承（上級レベルのみ）

9月以降開催の研修

分類	研修名（略称）	掲載ページ	受講対象者				診断士更新登録対象
			中小企業関係団体	認定支援機関	金融機関	診断士等専門家	
専門	ブランディング支援	2	●	●	●		●
	人手不足対策	3	●	●	●		●
	ビジネスプラン策定支援	4	●	●	●		●
	創業・新規事業支援	6	●	●	●		●
	事業承継支援	7	●	●	●		●
	データ活用支援	8	●	●	●		●
上級	OJT能力向上	5	●	●	●		
その他	経営力再構築伴走支援	10	●	●	●	●	●
	地域金融機関研修	9			●		●

中小企業診断士更新研修について

関西校で下期に開催する研修は、一部中小企業診断士更新登録（「専門知識の補充用件1回」[理論政策1回]）の対象コースとなります。

※各コースの受付初日の申込開始時間は、午前9時30分からとなります。

開催日	受付開始日
9月	6月2日（月）
10月	7月1日（火）
11月	8月1日（金）
12月	9月1日（月）
2026年1月	10月1日（水）
2026年2月	11月4日（火）

Web校のご案内

中小企業大学校web校がWEBee Campusで開講する「中小企業支援担当者等研修」は、オンラインで受講できます。

WEBee
Campus



～中小企業の想い・強み・働き方を、顧客と従業員に届く価値に変える3日間～ “らしさ”を軸に企業の価値を伝える ブランディング支援の実践

関西校

研修のねらい

中小企業の魅力は、商品や制度だけでなく、「どんな想いで事業を営み」「どんな価値観で人と関わっているか」にあります。本研修では、企業の“らしさ”や理念（ミッション・ビジョン・バリュー）を支援者が丁寧に引き出し、“伝わる言葉”に整えることで、顧客に届く魅力（CS）や、働く人の納得感や誇り（ES）につながるブランディング支援の技術を学びます。経営の原点を見つめなおし、「なぜそれをやるのか」という価値の根っこを言語化するために、問いかけや対話を通じて引き出す力（質問力・傾聴力）も実践的に養います。社会や地域、そして従業員からも“選ばれる会社”を共につくるための、「価値の見える化」と「共感される伝え方」の支援力を、3日間で深めていきます。

研修のポイント

- ☑ 対話を通じた魅力の言語化と、多様な人材に共感される職場づくり支援の技術を学びます。
- ☑ 経営者との対話から魅力を言語化し、経営改善支援に活かすことができるようになります。

研修期間

2025年
9/10(水)～9/12(金)
(3日間、20時間)

対象者

- ・ 中小企業の魅力発信や働きたくなる職場づくりを支援する力を習得したい方

定員 20名

受講料 23,000円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

大阪市中央区安土町2-3-13
大阪国際ビルディング

月日	時間	科目	内容
9/10 水	9:30-9:40	事務連絡	
	9:40-12:40	ブランディング支援の基礎理解	企業の「らしさ」の本質を理解し、支援の全体像を把握します。 ・ 中小企業における「らしさ」について ・ ブランド＝“選ばれる理由”を構造的に理解 ・ 支援者に必要な3つの力「聞く力・書く力・届ける力」
	13:40-15:00	経営者価値観の引き出し方	効果的なヒアリング技術を身につけます。 ・ 「問う」「聞く」「構造化する」の基本技法 ・ 価値観を引き出す質問設計のポイント ・ 経営者インタビューの設計と実践（ワーク）
9/11 木	15:00-17:40	想いの言語化	抽象的な想いを具体的な言葉に変換する技術を学びます。 ・ 経営者の語りをより具体化する手法 ・ 企業文化を言語化するフレームワーク ・ 1日目の振り返りとポイント整理
	9:30-12:30	伝わる言葉の設計	響く言葉を作り上げる技術を習得します。 ・ 理念（ミッション・ビジョン・バリュー）の言語化 ・ 若者・女性・シニア向けメッセージ設計のポイント ・ 「伝える」ではなく「伝わる」言葉とは
	13:30-15:00	働く魅力と企業文化の可視化	働き方や企業文化の魅力を伝える言葉に整理します。 ・ 組織の風土・働き方の魅力を掘り起こす視点と方法 ・ 理念を“従業員の言葉”に置き変える工夫 ・ 働く魅力を伝えるストーリー設計
9/12 金	15:00-17:30	理念浸透の仕組みと支援者の役割	理念を社内に浸透させる方法と支援者の関わり方を学びます。 ・ 顧客、従業員に伝わる理念の届け方 ・ 内発的ブランディングの仕掛けづくり（朝礼・行動指針等） ・ 理念浸透の実践事例紹介
	9:30-12:30	支援設計ワーク	支援対象企業を想定し、“らしさ”を起点とした実践的な支援プランを構想・発表することで、現場で活かせる支援力を高めます。 ・ 実際の支援先を想定した“らしさ発信支援プラン”の作成と整理
	13:30-14:30		
	14:30-16:30	発表・ふりかえり	・ 支援プラン発表とフィードバック ・ 3日間の学びの整理と体系化 ・ 実践に向けたアクション宣言
16:30-16:40	修了証書交付		

※事務連絡等を含んだ時間：20時間20分

※講義終了後に、最新の支援施策情報も紹介する場合がございます。（5～10分程度）

講師紹介（敬称略）



株式会社ともに経営研究所
代表取締役

山本 利映（やまもととしえ）

関西大学社会学部卒業後、営業や貿易事務、建設現場監督など、ライフステージに合わせて多様な職種を経験し、2017年中小企業診断士として独立。CSV（共通価値の創造）や人的資本経営、ダイバーシティ経営といった視点を取り入れながら、企業が持続的に選ばれ続けるための支援に注力。働き方の見直しや従業員エンゲージメントの向上、理念の再構築など、内側から企業価値を高める実践的支援を行っている。経営者の想いや企業文化に深く耳を傾け、組織の価値や存在意義を丁寧に言語化・構造化する支援を得意とする。研修では、自身の多様なキャリア経験を交えた親しみやすい語り口と、実務に即した視点が好評を得ている。中小企業診断士、キャリアコンサルタント。

～採用・定着・育成・副業人材活用などの人材戦略～ 中小企業の「人手不足対策」 支援の進め方

関西校

研修のねらい

人材不足が深刻な状況にある中小企業においては、若手社員の採用や中堅社員の離職といった悩みを抱える企業が少なくありません。企業の「人」の問題を解決するためには、労働人口減少社会の現実を正しく理解し、受け入れた上で、それぞれの企業に必要な対策を検討していくことが重要です。

本研修では、採用・定着（離職防止）・育成のポイントについて学ぶと共に、副業兼業人材の活用や効果的なデジタル化の進め方など、中小企業が現実的に取り得る具体策についても学び、効果的な経営支援に繋がる力を育成します。

研修のポイント

- ✓ 中小企業の人手不足対策として有効な支援手法・アプローチを学ぶことができます。
- ✓ 実際の支援現場で使えるチェックシート等、ツールの使い方を学び、実践できるようになります。

研修期間

2025年
9/17(水)～9/19(金)
(3日間、20時間)

対象者

中小企業支援機関の職員の方

- ・ 中小企業の人手不足問題に関する知識・対策の着眼点を身に着けたい方

定員 30名

受講料 23,000円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

大阪市中央区安土町2-3-13
大阪国際ビルディング

月日	時間	科目	内容
9/17 水	9:30-9:40	事務連絡	
	9:40-12:40	中小企業の採用・定着の現状と課題	中小企業の採用・定着の現状を理解し、どのような課題に結びついているかを総合的に学びます。
		人材戦略の考え方	企業経営を人材の観点から俯瞰的に捉える、人材戦略の考え方を学びます。
9/18 木	13:40-17:40	経営支援としての前さばき方法の習得(演習)	企業から人材の問題を相談された場合、単に採用や定着の話として聞くのではなく、経営戦略とどのようにリンクし、本当に人の採用や定着対策が第一選択肢となるのかを総合的に判断する必要があります。支援機関職員として、専門家につなぐ前にどのように相談内容を整理し、真に企業の役に立つ支援に繋げるかを演習を通して学びます。
	9:30-12:30	採用対策(演習)	採用をマーケティング視点からとらえ、どのフェーズにどのような対策が効果的かを学びます。
9/19 金	13:30-17:30	定着対策(演習)	定着対策の基本は、「企業の魅力度を高める事」です。魅力度の高い組織の条件を整えるための考え方、具体的方法を学びます。
	9:30-12:30	育成対策(演習)	様々な人材育成方法を学ぶと共に、プロジェクト形式での人材育成方法について、支援機関職員として出来る事を学びます。
9/19 金	13:30-16:30	人手不足対策の具体例紹介 ・副業兼業人材活用 ・デジタル化	常用雇用の採用はこれから先、更に厳しくなってきます。それを踏まえ、新しい人手不足対策の具体的な方法を事例から学びます。
	16:30-16:40	修了証書交付	

※事務連絡等を含んだ時間：20時間20分

※講義終了後に、最新の支援施策情報も紹介する場合がございます。(5～10分程度)

講師紹介(敬称略)



テイクストーンズコンサルティング合同会社
代表社員

武石 ゆかり

(独) 中小企業基盤整備機構で26年勤務し、多種・多様な中小企業・小規模事業者の多種・多様な課題解決の支援を実施。2023年「経営をITと人の心で結ぶ」ことをコアビジョンとして、テイクストーンズコンサルティング合同会社を創業。主として、デジタル化・人的資本経営のコンサルティング、心理的安全性確保のためのカウンセリングを通し、中小企業の成長・成熟のための挑戦や実験を応援中。
資格：中小企業診断士・ITコーディネータ・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー

ビジネスプラン策定の実践術

研修のねらい

小規模事業者持続化補助金などの施策は、一見すると事業者の視点では単なる資金調達的手段に見えますが、販路開拓・人材不足など企業活動の多分野へ波及効果と良循環を生み出すことができます。また、支援者にとっては、新たな支援先や接触頻度の低い支援先との関係を構築する好機とも言えます。

本研修では、持続化補助金の基礎及び経営計画の全体像を学んだ上で、補助金申請書を使用した演習等を通じて、企業の持続的発展に寄与するビジネスプラン策定支援を行う手法を学びます。

研修のポイント

- ☑ 持続化補助金創設の背景と基礎知識が学べます。
- ☑ 経営計画策定のポイントと進め方が学べます。
- ☑ 経営計画策定演習を通して、支援先との関わり方のポイントが学べます。

研修期間

2025年

10/28(火)～10/30(木)

(3日間、20時間)

対象者

小規模事業者持続化補助金の採択等に向けた支援を行っている、または行う予定のある方

定員 30名

受講料 23,000円(税込)

会場

中小企業大学校関西校

大阪市中央区安土町2-3-13
大阪国際ビルディング

月日	時間	科目	内容
10/28 火	9:30～9:40	事務連絡	
	9:40～12:40	持続化補助金創設の背景と基礎知識	小規模事業者の取り巻く環境や支援機関に求められる役割を学んだ上で、持続化補助金の基礎知識と支援への繋がりを学びます。 ・支援機関に求められる役割 ・持続化補助金創設の背景と基礎知識 ・経営計画の全体像と伴走支援への繋が方
	13:40～17:40		賛同が得られやすいビジネスプラン策定のノウハウを持続化補助金の策定ステップに合わせて学び、同時に事例演習を行います。
10/29 水	9:30～12:30	経営計画策定のポイントと進め方	・企業概要の把握 ・顧客ニーズと市場の動向 ・自社や自社の提供する商品・サービスの強み ・経営方針・目標と今後のプラン ・実現可能性と補助事業の効果
	13:30～17:30		
10/30 木	9:30～12:30		
	13:30～16:30	経営計画策定演習	学んだことを活かして、申請サポートした案件などを活用し、経営計画策定を行うとともに、経営計画のプレゼンを行います。 ・経営計画策定演習 ・経営計画の発表・ブラッシュアップ
	16:30～16:40	修了証書交付	

※講義終了後に、最新の支援施策情報も紹介する場合がございます。(5～10分程度)

講師紹介(敬称略)



株式会社プランコンサルティング 代表取締役社長 茂井 康宏(中小企業診断士)

高知県生まれ。東京都内上場企業(通信販売業)でバイヤーを務め、年間2,000件の商談に対応。数多くの全国ヒット商品を手がける。平成17年度以降は、地元高知県の商工会議所で多数の全国優秀事例を輩出したことで、経営指導員の西の横綱としてメディアにも数多く取り上げられる。現在は中小企業診断士事務所代表として、企業に対するコンサルティング、中小企業大学校や全国各地の商工会・商工会議所等の支援機関でセミナー・研修講師を務めるほか、補助金等の審査業務も数多く行う。また商工会議所の「ヒット商品開発プロジェクト」などに携わっている。

関西校

検索

～事業者支援のための実践的 OJT スキルアップ～ ベテラン支援担当者のための OJT 能力向上研修

関西校

研修のねらい

企業経営の支援能力向上を目的としたOJTは、支援現場によって指導する知識やノウハウが異なるだけでなく、OJTの機会や場、指導者に求められる資質や能力も大きく異なります。そのため、指導者は体系的に「教え方」を学ぶことなく実施することが多く、結果として期待した成果が得られないという課題が見受けられます。本研修では、OJTの基本的なノウハウを理解した上で、支援能力向上に向けたOJTの実践的なポイントを学びます。また、インターバル期間中に実際の支援現場でOJTを実践し、その振り返りを通じて、現場に即したOJT実践のノウハウを習得します。

研修のポイント

- ☑ 事業者支援担当者育成の指導方法を体系的に学びます。
- ☑ 支援能力向上を図る OJT ノウハウを演習で身につけます。
- ☑ 現場での実践と振り返りを行い、OJT 実践のポイントを学びます。

研修期間

2025年
11/13^木・11/14^金
12/16^火
(3日間、18時間)

対象者

- 中堅以上の指導員を対象に、事業者支援に関する OJT をより効果的に行うために必要なスキルや考え方を学びたい方

定員 **30**名

受講料 **23,000**円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

大阪市中央区安土町2-3-13
大阪国際ビルディング

月日	時間	科目	内容
11/13 ^木	9:30-9:40	事務連絡	
	9:40-12:40	支援能力向上のための OJT 実践ノウハウ	支援現場において、指導者に求められる役割と OJT の重要性を理解するとともに、人材育成を効果的に進める上で知っておくべき OJT の実践ノウハウについて学びます。
	13:40-16:40	支援機関が行う OJT の考え方	支援能力向上のための OJT を実施するためには、支援機関として支援人材育成の環境を整備する必要があります。効果的な OJT を実施するための前提となる支援人材育成の考え方、仕組みを学びます。
11/14 ^金	9:30-12:30	支援機関が行う OJT の取り組み	OJT の取り組み方法を、マネジメントする管理者や OJT を実施する指導役の視点で学びます。
	13:30-17:30	OJT の現場実践① ～自機関の OJT 実践の準備～	これまで学んだことを活かして、インターバル期間に OJT を実践します。そこで、効果的な OJT を行うための準備をします。
12/16 ^火	9:30-12:30	OJT の現場実践②前半 ～自機関の OJT 実践の振り返りと改善～	インターバル期間で実践した OJT を振り返り、今後の改善策を検討します。 ※埼玉県商工会連合会 黒澤指導員より事例共有
	13:30-16:30	OJT の現場実践②後半 ～自機関の OJT 実践の振り返りと改善～	インターバル期間で実践した OJT を振り返り、今後の改善策を検討します。 ※埼玉県商工会連合会 黒澤指導員より事例共有
	16:30-16:40	修了証書交付	

※事務連絡等を含んだ時間：18時間 20分

講師紹介(敬称略)



フレイヤー・コンサルティング
代表

豊田 信 (とよだ あきら)

中小企業診断士。広告代理店勤務を経て、1998年経営コンサルタントとして独立。酒類業、フランチャイズビジネス、ベンチャー企業育成を主要領域に企業支援の実績多数。2011年より5年間、中小機構全国支援ネットマネージャーを務め、全国の商工会などを対象とした支援機関支援に携わる。専門家派遣による小規模企業支援の実績も多い。中小企業大学校講師、事業再生士補、知的資産経営認定士。



(一社)埼玉県商工会議所連合会
広域指導員

黒澤 元国 (くろさわ もとくに)

大学卒業後、大手流通会社、大滝商会(当時)、秩父商工会議所を経て2021年4月から埼玉県商工会議所連合会広域指導員。県内の事業者支援と支援担当者育成を手掛ける。中小企業診断士の資格を持つ。中小企業庁の「伴走支援の在り方検討会」や「中小企業収益力改善支援研究会」などの委員などを務める。

創業・新規事業支援の進め方

研修のねらい

創業や小規模事業者の新規事業展開支援を進めるために必要な事業者との関わり方のポイントや創業時等の経営上の課題を事例等で理解した上で、創業から継続して事業を進めていくための支援に役立つ手法や進め方を、演習を交えて学ぶことで、創業支援能力を高めます。

研修のポイント

- ✓ 新規事業展開や創業支援の現状・動向を理解し、事業者を支援するための考え方について学びます。
- ✓ 創業者、小規模事業者から創業時や成長に役立つ支援や関わり方について、意見交換を行います。
- ✓ ビジネスモデルの見える化等を通じた創業支援の進め方について、演習を交えて学びます。

研修期間

2025年

11/19水 ~ 11/21金

(3日間、20時間)

対象者

創業や小規模事業者のための新規事業展開支援を効果的に支援するための考え方やスキルを学びたい方

定員 30名

受講料 23,000円(税込)

会場

中小企業大学校関西校

大阪市中央区安土町2-3-13
大阪国際ビルディング

月日	時間	科目	内容
11/19 水	9:30~9:40	事務連絡	
	9:40~12:40	創業の実際とコミュニケーション	創業（新規事業を含む）を支援する際の関わり方、進め方について、演習を交えながら解説します。 ・創業を支援するための支援者のあり方・心構え ・創業支援に必要な7つのスキル ・創業支援に役立つ質問の仕方
	13:40~17:40	創業支援の実例	創業者から創業の動機、創業前後の問題・課題、その後の成長における取り組み状況について実際の経験談をうかがいます。その後、創業支援の専門家から、創業前後の課題解決サポートなど、実際に支援してきた話を聞き、自身の創業支援のあり方について考えます。
11/20 木	9:30~12:30	創業、新規事業支援の考え方	創業、新規事業展開に関する創業者、事業者の支援の流れや支援ポイントについて、資金繰りの流れや儲けに繋がる販路開拓の仕組みづくりを踏まえて学びます。 ・創業等の資金繰りの流れと管理 ・儲けに繋がる顧客開拓の仕組みづくり ・創業等の相談におけるビジネスモデルの見える化支援の方法
	13:30~17:30		
11/21 金	9:30~12:30	創業、新規事業支援の効果的な進め方【演習】	創業、新規事業展開等を円滑に進めるためのビジネスモデルの見える化方法を学ぶとともに、戦略的視点を付加したブラッシュアップなどについて、事例演習を交えて学びます。 ・ビジネスプランの立案と目利き ・BSCの視点に基づく戦略目標設定と行動計画策定 ・創業後のフォローアップを効果的に進める方法
	13:30~16:30		
	16:30~16:40	修了証書交付	

※講義終了後に、最新の支援施策情報も紹介する場合がございます。(5~10分程度)

講師紹介(敬称略)

1日目

■山本 裕司

さかい新事業創造センターのインキュベーションマネージャー、
中小企業診断士

■事例企業

株式会社 三天被服

代表取締役 東谷 麗子

株式会社フォレストバンク

代表取締役 小林 亮

グーイー株式会社

代表取締役 余野 桜

2日目、3日目

■伊藤 慎悟

コンサルティング・シスト 代表

関西校

検索

事業承継支援の進め方

研修のねらい

経営者の高齢化が進んでいるにもかかわらず、半数を超える企業が現在も後継者が決まっていません。従業員、取引先のみならず地域経済にまで大きく影響を及ぼしかねず、後継者の決定と継承が急務となっており、同分野で経営指導員に寄せられる相談は、案件数のみならず、解決の難易度も上昇してきています。

本研修では、多くの中小企業経営者が喫緊の課題としてとらえている後継問題について、事業承継計画書の作成演習なども交えながら、承継時に留意すべきポイントを学びます。

研修のポイント

- ☑ 中小企業の円滑な事業承継を支援する者としての心構えについて学びます。
- ☑ 事業承継に関わる経営、税務、法務知識等を整理して学びます。
- ☑ 事業承継計画の作成支援の仕方について、演習を交えて学びます。

研修期間

2025年
12/8日～12/9日
(2日間、12.5時間)

対象者

- ・ 中小企業の事業承継支援に必要な知識やスキルを身につけたい方

定員 30名

受講料 22,000円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

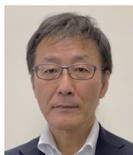
大阪市中央区安土町2-3-13
大阪国際ビルディング

月日	時間	科目	内容
12/8 月	9:30-9:40	事務連絡	
	9:40-11:10	事例から学ぶ 事業承継支援の基本	様々な事例から事業承継支援の留意点を学びます ・ そもそも事業承継とは何をするのか ・ 事業承継支援の基本的な流れ
	11:10-12:40	事業承継の実践 (ロールプレイ演習)	実際の支援現場でのケースを想定して、演習を通して学びます ・ ヒアリング設問の意味 ・ ヒアリングによる課題の抽出 ・ 事業承継方針の決定
	13:40-15:40	事業承継に関する 税制の基本	事業承継税制の概要 ・ 納税猶予、特例制度 ・ 自己株式の評価 ・ 相続税、贈与税の基本
	15:40-17:40	事業承継に関する 法務の基本	事業承継で着目すべき法務の知識 ・ 会社法 ・ 民法特例 ・ 遺言等
12/9 火	9:30-11:00	事業承継における 知的資産の引継ぎ	事業承継の重要課題である知的資産の承継 ・ 知的資産とは ・ 知的資産経営実践のステップ
	11:00-12:30	高齢経営者や 経営不振企業の 事業承継	後継者不足や事業継続が困難な場合の対応策を具体的に学びます。 ・ 後継者不在の高齢経営者と経営不振事業の事業承継 ・ 後継者不在企業とM&A ・ 計画的廃業のすすめと手順
	13:30-16:00	事業承継計画作成の 支援(事例演習)	・ モデルケースによる事業承継計画作成を、演習通して学びます。
	16:00-16:10	修了証書交付	

※事務連絡等を含んだ時間：12時間30分

※講義終了後に、最新の支援施策情報も紹介する場合がございます。(5～10分程度)

講師紹介(敬称略)



株式会社プロ・スクエア コンサルタンツ
中小企業基盤整備機構
事業承継支援アドバイザー
天井 省二
(あまいしょうじ)

大学卒業後、海運代理店勤務を経て平成5年にコンサルタントとして独立。自社で中小企業の経営支援を行うと共に、神戸市震災復興融資相談員、中小企業大学校後継者コース講師、大阪市都市型産業振興センター経営相談室次長等につきながら、多くの経営相談、創業支援、経営改善等の公的支援を行う。中長期経営計画策定10社以上、事業再生計画策定20社以上、創業計画策定支援数社以上の実績を持つ。兵庫県立大学大学院社会科学部研究科客員教授。



杉本雅彦 税理士事務所
中小企業基盤整備機構
事業承継支援アドバイザー
杉本 雅彦
(すぎもとまさひこ)

同志社大学卒業後、化学メーカーに勤務したのち、税理士資格を取得し、平成14年に開業。平成20年に中小企業診断士資格を取得し、経営支援を強化。事業承継コーディネーターとして企業の承継支援に従事し、金融機関等での研修講師や経営相談員として活動。事業承継計画書の作成、株価計算、財産移転計画の策定、相続支援に携わるほか、大阪府で農業経営者の支援も行う。経営者の成長と事業の発展を多角的にサポートしている。



辻本法律特許事務所
中小企業基盤整備機構
事業承継支援アドバイザー
辻本 希世士
(つじもとときよし)

関西大学大学院修了後、平成9年に司法試験合格。平成12年に弁護士登録し、翌年弁理士登録。知的財産法を中心に、民事・商事・金融・倒産・不動産など幅広い法律業務に従事。平成18年にニューヨーク州弁理士登録、山口大学客員教授就任。平成20年より中小企業基盤整備機構の事業承継コーディネーターとしても活動。多くの企業の法務を支援し、訴訟業務や知的財産戦略の助言を行う。関西経済同友会など多くの団体に所属し、幅広い分野で活躍中。

データを活用した経営支援の進め方

関西校

研修のねらい

本研修では、データ活用の重要性やデータを見る視点を学んだ上で、企業経営や職場の問題解決におけるデータ活用の考え方・取り組み方を事例演習を通して身につけます。また、説得力のあるアドバイスの裏付となるデータ分析の手法を習得し、経営支援の質の向上を図ります。

研修期間

2025年
12/23^火～12/25^木
(3日間、20時間)

対象者

- 中小企業支援担当者又は中小企業支援協力機関の職員で中堅担当者又は職務経験5年程度以上の方

定員 30名

受講料 23,000円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

大阪市中央区安土町2-3-13

大阪国際ビルディング

研修のポイント

- ☑ データの収集、加工、並びに分析手法が身につきます。
- ☑ 分析結果に説得力を持たせた説明ができるようになります。
- ☑ 事業者に伴走した支援のあり方について検討します。

月日	時間	科目	内容
12/23 ^火	9:30-9:40	事務連絡	
	9:40-15:40	「聴く」 データに基づく 経営支援のポイント	持続的な経営を支援するために、事業者や関係者の心を動かすデータ活用、伴走型支援のポイントを学びます。 <ul style="list-style-type: none">中小企業を取り巻く現状と課題の共有データドリブン経営の必要性経営支援における事業者との対話ポイント経営支援に用いるデータの種類と特徴経営支援に使える代表的なフレームワーク
	15:40-17:40	「調べる」 経営支援における データ収集 (演習)	インターネット上のオープンデータを活用した経営環境の把握、社内データを活用した経営支援について、表計算ソフトを活用しながら実践的に学びます。 <ul style="list-style-type: none">経営支援におけるオープンデータの調べ方 (演習)経営課題に応じた様々なデータの収集と組立て (演習)
12/24 ^水	9:30-12:30	「分析する」 基本的な分析手法 (演習)	データを読み解くために知っておきたい統計の基本について、表計算ソフトを活用してサンプルデータを分析しながら学びます。 <ul style="list-style-type: none">平均値、中央値、最頻値四分位、分散、標準偏差相関と因果
	13:30-17:30	「読む」 データの読み方と 注意点 (演習)	経営課題に関するデータの見方を確認するとともに、表計算ソフトを活用したデータの素早いグラフ化、AIの活用について学びます。 <ul style="list-style-type: none">データを読む時に気をつけたいこと (演習)グラフの使い方とその応用AIの活用と注意点
12/25 ^木	9:30-12:30	「伝える」 説得力を生み出す プレゼンテーション (演習)	データを活用した説得力のあるプレゼンテーションを行うための基本について、実践的な演習を通して学びます。 <ul style="list-style-type: none">プレゼンテーションのポイント資料作成のコツデータに基づいた効果的な説明方法
	13:30-16:30	総合演習 事業者に寄り添う 伴走型支援	事例企業の伴走型支援計画策定、データ活用支援の具体的なアクションプラン作成しプレゼンテーションします。
	16:30-16:40	修了証書交付	

※事務連絡等を含んだ時間：20時間20分

※講義終了後に、最新の支援施策情報も紹介する場合がございます。(5～10分程度)

講師紹介(敬称略)



中小企業診断士

服部 繁一 (はっとりしげかず)

桃山学院大学ビジネスデザイン学部 准教授、ITストラテジスト、一級販売士、認定経営革新等支援機関上場企業にて、Webシステムの企画・設計・開発・管理、ITコンサルティングなどを経験した後、地域総合経済団体にて、インキュベーション・マネジャーを務める。現在は、中小企業診断士として実務、研究、教育に従事。実務面は、製造業・卸売業・物流業などさまざまな業界の起業希望者から中小企業経営者まで、3,000社以上の経営および創業支援実績があり、特に多角的視点を持った事業計画作成の支援に定評がある。また研究面では、実務を踏まえて情報が中小企業経営に及ぼす影響に関するメカニズムの解明に取り組んでいる。

～伴走支援力、事業性評価力向上研修～ 地域金融機関職員研修

関西校

共催：近畿経済産業局
後援：近畿財務局

研修のねらい

本研修は、中小企業の金融円滑化の一環として近畿経済産業局並びに中小企業基盤整備機構が連携して実施するもので、地域金融機関職員の事業性評価力の向上等により中小企業等の伴走支援力を強化することを通じて地域経済の活性化を目指すものです。

※研修開始前に事前課題があります。
(書籍を読んだ上での事前アンケートへの回答)

研修のポイント

- ✓ 講師や受講者との意見交換等により、知識、スキルの習得と業務への応用力、適用力の向上を目指します
- ✓ 国の小規模事業者対策と実際の支援策のあり方や重要ポイントについてわかりやすく学べます
- ✓ 地域金融機関職員同士で意見交換や業務遂行に役立つネットワークづくりができます

研修期間

2026年
1/8 木～9 金

対象者

近畿圏の中小企業・小規模事業者支援に携わる地域金融機関の役職員

定員 20名

受講料 22,000円(税込)

会場

大阪国際ビルディング 17階
(セミナールーム)

〒541-0052
大阪市中央区安土町2-3-13

講師紹介(敬称略)

(1/8)
一般社団法人日本金融人材育成協会
会長

森 俊彦 (もりとしひこ)

(1/9)
株式会社地域金融ソリューションセンター
代表取締役

竹内 心作 (たけうちしんさく)

研修申込はこちら

こちらのQRコードよりお申し込みください(中小機構HP)



月日	時間	科目	内容
1/8 木	9:50-9:55	事務連絡	研修のねらい、学習ポイントについて
	9:55-10:00	共催代表のご挨拶	近畿経済産業局産業部 中小企業課長 近藤 健一郎
1/8 木	10:00-12:30	地域金融の未来～中小企業支援施策の最新動向と課題設定型伴走支援～【国の施策】	最新の中小企業行政と金融行政のポイントを整理し、「金融機関の持続可能な収益性や将来にわたる健全性を具体的にどのように構築していくのか」の観点から、次のような点を取上げ、明日からの実践での活用を目指します。 (1) 政府施策の実践を念頭に置いた具体的なポイント ①内閣・知的財産戦略本部「知財・無形資産ガバナンスガイドライン2.0」 ②中小企業庁「中小企業の成長のためのイノベーション・プロデューサー実証事業」 ③内閣官房・内閣府「地域デジタル化支援促進支援事業」 ④環境省「TCFD開示等における『機会』の明確化を目指したビジネスチャンス創出事業」(GX) ⑤内閣府が後援する「企業経営アドバイザー」(中小企業の伴走支援人材)とは (2) 金融機関の「使命」と「支援機関の連携」
	13:30-17:30	地域金融の未来～中小企業支援施策の最新動向と課題設定型伴走支援～【実践事例、質疑・意見交換】	以下の「伴走支援型融資」による創業・事業再生・事業承継・成長支援やメイン化について、実例を交えながら分かりやすく説明します。 (1) 過大債務企業やスタートアップへの経営支援の実例・経営デザインシートやローカルベンチマークの活用と「伴走支援型融資」の実践 (2) 中小企業経営者の生の声(金融機関への思い) さらに、講師、受講者とのディスカッションにより、知識、スキルの習得と業務への応用力、適用力の向上を目指します。
1/9 金	9:30-12:30	地域金融機関に期待される役割と事業性評価の実践(実例を用いたケーススタディ)	中小企業の現状と営業現場の実状に横たわるギャップについて概観し、地域金融機関の渉外担当者に求められているものを浮き彫りにします。また、事業性評価を行うにあたっての分析手法をマクロ的な観点、対話によるミクロ的な観点から解説します。 ・事業性評価とソリューション提案の位置づけ ・本質的な課題をあぶり出すためのヒアリング ・SWOT分析からクロスSWOT分析へ
	13:30-16:30	ソリューション提案の実践と公的支援機関の活用手法(実例を用いたケーススタディ)	事業性評価により抽出した個々の経営課題に地域金融機関としていかなるソリューションを提供できるのか、事例を用いて学びます。その際、本部に頼らずとも、営業店ないしは担当者の工夫だけでも提供できるよう、公的支援機関の活用やその他具体的な動き方について解説します。
	16:30-16:40	修了証書交付	

※中小企業診断士更新研修(理論政策1回)

ケースで学ぶ！経営力再構築伴走支援研修

～経営者に寄り添うスキルを身につける～

関西校

研修のねらい・内容

環境変化が激しく、不確実性が高まる時代においては、企業の「経営力そのもの」が重要となり、企業自らが柔軟に自社を変革させていく「自己変革力」を高める必要があります。

本研修では、経営者が本質的な課題に気付き、経営改善・成長のためになすべきことに腹落ち・納得し、能動的な行動につなげる伴走支援について、実際の伴走支援事例を基にしたケース演習を通じて、対面型で実践的に学びます。

研修期間

2026年2月25(水)～26(木)
(2日間・12時間)

対象者

中小企業・小規模事業者の支援者

(支援機関職員、金融機関職員、中小企業診断士、認定経営革新等支援機関、その他専門家)
中小企業診断士の方は、中小企業診断士更新の対象となります。(理論政策1ポイント)

定員 30名

受講料 22,000円(税込)
※受講料は変更になる場合があります。

会場

中小企業大学校関西校

大阪市中央区安土町2-3-13
大阪国際ビルディング 27F

申込み開始日:11月4日(火)

研修の特色

- ✓ 経営力再構築伴走支援モデルの三要素、フレームワークを学びます。
- ✓ 経営者に寄り添い、課題設定型の的確な支援を行うためのスキルを磨きます。
- ✓ 実際の伴走支援事例を基にしたケース教材を用い、支援の進め方について実践的に学びます。

月日	時間	科目	内容
2/25 (水)	9:30 ～ 9:40	オリエンテーション	
	9:40 ～ 16:40 (昼休憩1h)	経営力再構築 伴走支援の基 本的な流れ	経営課題に応じた支援手法(技術的問題、適応課題)、プロセス・コンサルテーションの考え方を理解します。 経営力再構築伴走支援モデルのフレームワーク、支援の進め方について学びます。 ・事業者と接する前 ・事業者・支援者双方の理解 ・伴走支援の開始 ・気づき・腹落ちの促進 ・内発的動機づけ ・課題解決 ・フォローアップ
2/26 (木)	9:30 ～ 16:30 (昼休憩1h)	事例研究 (演習)	経営力再構築伴走支援プラットフォームに掲載している事例を用い、伴走支援の効果的な進め方、留意点を学びます。

講師紹介(敬称略)



久保公認会計士事務所 代表
久保 道晴(くぼ みちはる)

2006年、公認会計士試験に合格し、あずさ監査法人(現 有限責任あずさ監査法人)に入所。2011年に独立後、中小企業の事業承継、後継者育成に特化した支援を行う。公認会計士・税理士・中小企業診断士・1級ファイナンシャル・プランニング技能士。主な著書「オーナー社長の後継者育成読本」「ソリューション営業のためのFP実践講座」(共著)「事業承継入門講座」(共著)など。



受講申込みのご案内

1 受講申込み

- ・原則各大学の「中小企業支援担当者向け研修」ページから「Web申込み」にてお申し込みください。
※「Web申込み」の「受講者所属機関情報」電話番号につきましては、所属機関の代表番号をご入力ください。
- ・研修開講日の属する3か月前の第一営業日から受講申込みを開始し、受講申込み開始後は先着順での受付となります。
- ・応募が定員を大幅に下回る研修については、開催を見合わせる場合があります。ご理解賜りますようお願い申し上げます。



2 お問い合わせ

[Web申込みについて] 中小企業大学校 受講申込受付センター

TEL 03-5422-1161(平日9時30分～18時00分)

MAIL jm-kenshu@smrj.go.jp

[研修内容について] 独立行政法人中小企業基盤整備機構 近畿本部 中小企業大学校関西校

TEL 06-6530-0029(代) MAIL jm-kenshu@smrj.go.jp

URL <https://www.smrj.go.jp/institute/kansai/>

関西校ホームページ

人材育成強化中!

支援先企業の皆さまにもお役立ちいただけそうでしたらぜひ関西校をご紹介ください。
“人づくり”を通じて、企業の成長を支えます。

Be a Great Small.
中小機構

中小企業大学校 関西校

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 近畿本部

〒541-0052 大阪市中央区安土町2丁目3-13
大阪国際ビルディング17階

Osaka Metro(大阪メトロ)

- 堺筋線・中央線「堺筋本町」駅から徒歩2分(17番出口)
- 御堂筋線・中央線「本町」駅から徒歩5分(3番・7番出口)

